

(仮称)七ヶ浜町保健福祉センター(イメージ)

# (仮称)七ヶ浜町保健福祉センター 基本構想 (案)

- P2 基本理念 「ここから つながる安心 ひろがる健幸」
- P3 (仮称)七ヶ浜町保健福祉センターについて
- P4 4つのエリア
- P5 設計方針
- P6 施設の概要
- P7 整備スケジュール

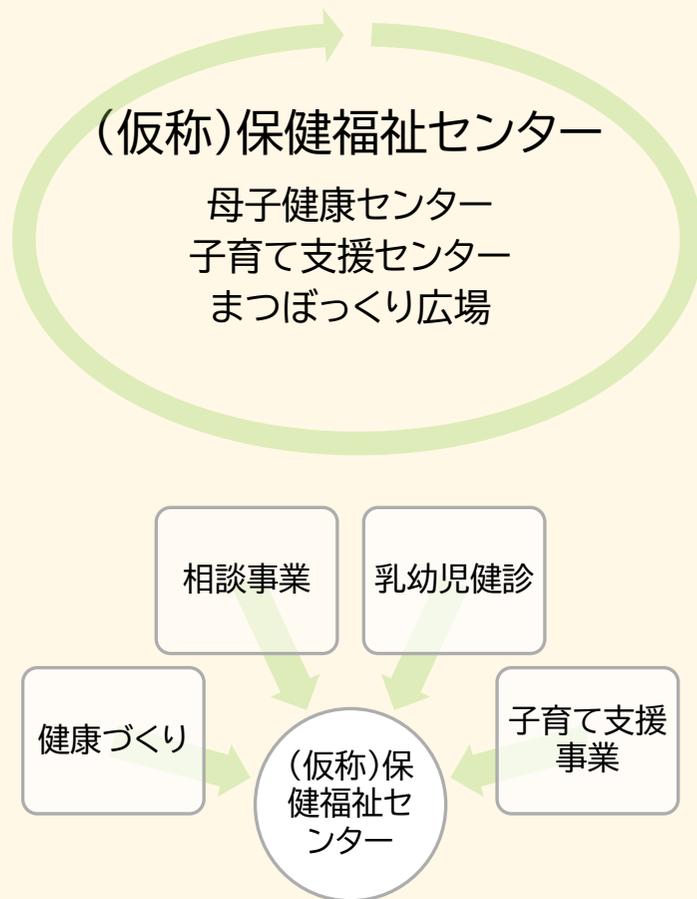


相談支援エリア(イメージ)

## 基本理念 「ここから つながる安心 ひろがる健幸」

小さな町だからこそ築ける顔の見える関係と、切れ目のない支援を大切にします。

母子保健、子育て支援、健康づくり、福祉の機能がつながることで、日常の安心を支え、その積み重ねが心と体の健やかさ(健幸)として町全体に広がる拠点を目指します。



[発災時] 本部機能

- ・ 役場
- ・ 水道事業所
- ・ (仮称)保健福祉センター

[発災時] 防災拠点施設

- ・ 生涯学習センター

[発災時] 避難所機能

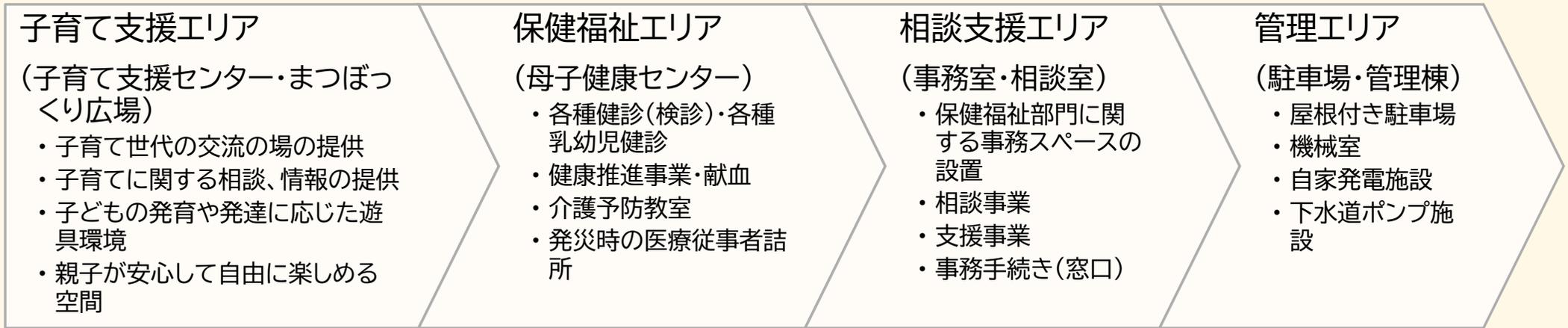
- ・ 拠点避難所(各学校・国際村・生涯学習センター・アクアリーナ)
- ・ 指定避難所(地区避難所・地区公民分館など)
- ・ 福祉避難所(あさひ園 など)

## (仮称)七ヶ浜町保健福祉センターについて

(仮称)七ヶ浜町保健福祉センターは、母子健康センター、子育て支援センター、まつぼっくり広場を集約し、健康づくりの拠点として、町民の利便性向上を図ります。

健康づくりや相談事業の充実により、住民が安心して暮らすことのできる福祉環境を提供するほか、乳幼児健診や子育て支援事業を実施し、妊娠期から出産、子育てに関する様々な相談に、専門職がワンストップで対応します。子どもの発育と発達を促し、親子が安心して楽しく過ごせる遊びの環境を整備し、子育てがしやすい環境づくりの拠点を目指します。

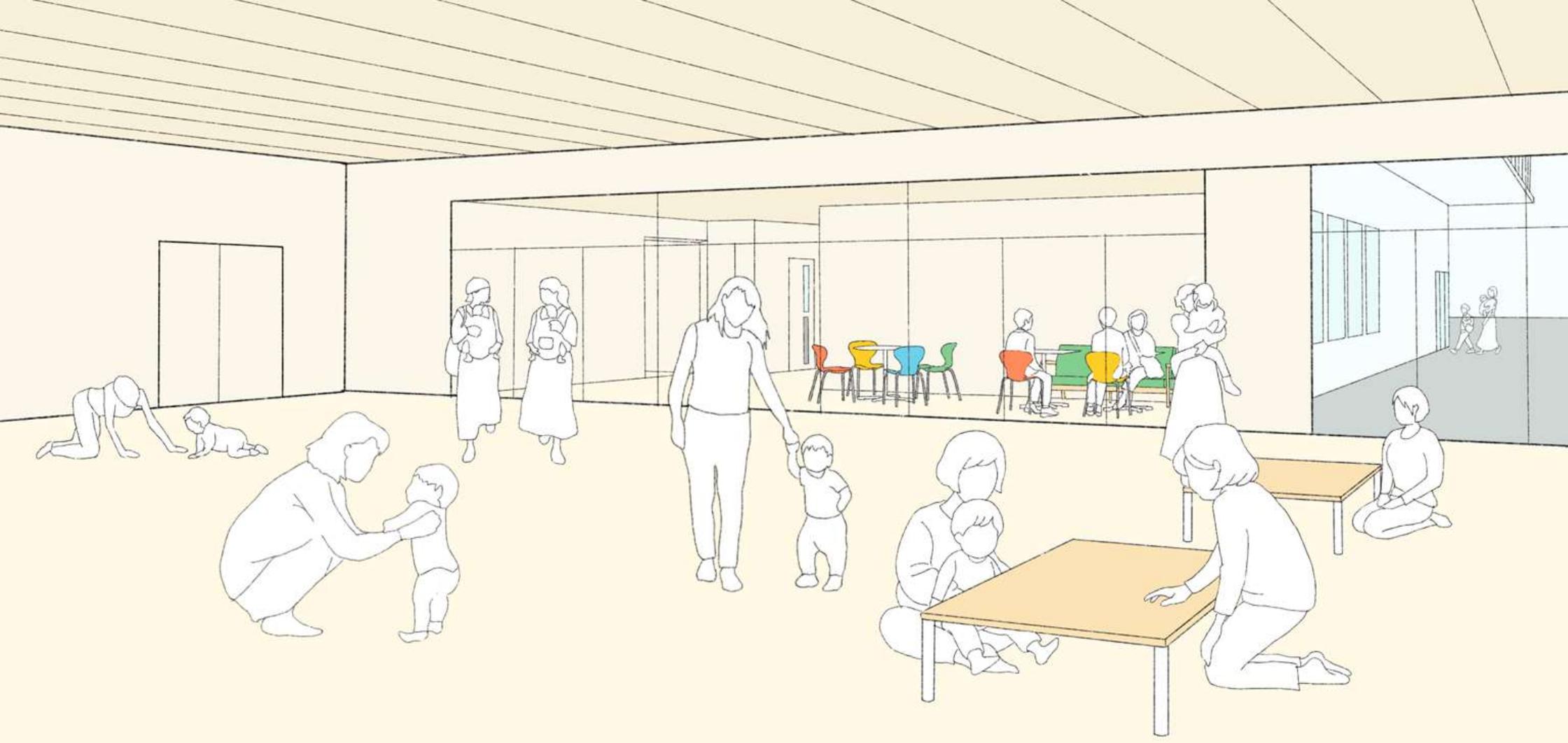
また、発災時には役場の本部機能を補完する施設等として運用します。



## 4つのエリア

(仮称)七ヶ浜町保健福祉センターは、子育て支援エリア、相談支援エリア、保健福祉エリア、管理エリアの4つのエリアで構成し、役場との連携により保健福祉事業全般を展開します。

各エリアの階の割り振り(複数階への分割を含め)や各室の配置などは、基本設計により決定します。



保健福祉エリア(イメージ)

## 設計方針

1. 機能性や使い勝手、耐候性や耐久性、強靭性を重視します。
2. 将来のメンテナンスコストやランニングコストを最小限に抑えられるような設計や素材を選定します。
3. 利用者にとって親しみやすい建物のデザインとします。
4. 乳幼児から高齢者に加え身体的なハンディを持つ方など、幅広い年代や一定の配慮が必要な住民に利用されることを想定し、ユニバーサルデザインに対応した利用者にやさしい施設とします。
5. 施設のサイン(各種案内表示など)は、分かりやすさや親しみやすさを重視します。



子育て支援エリア(イメージ)

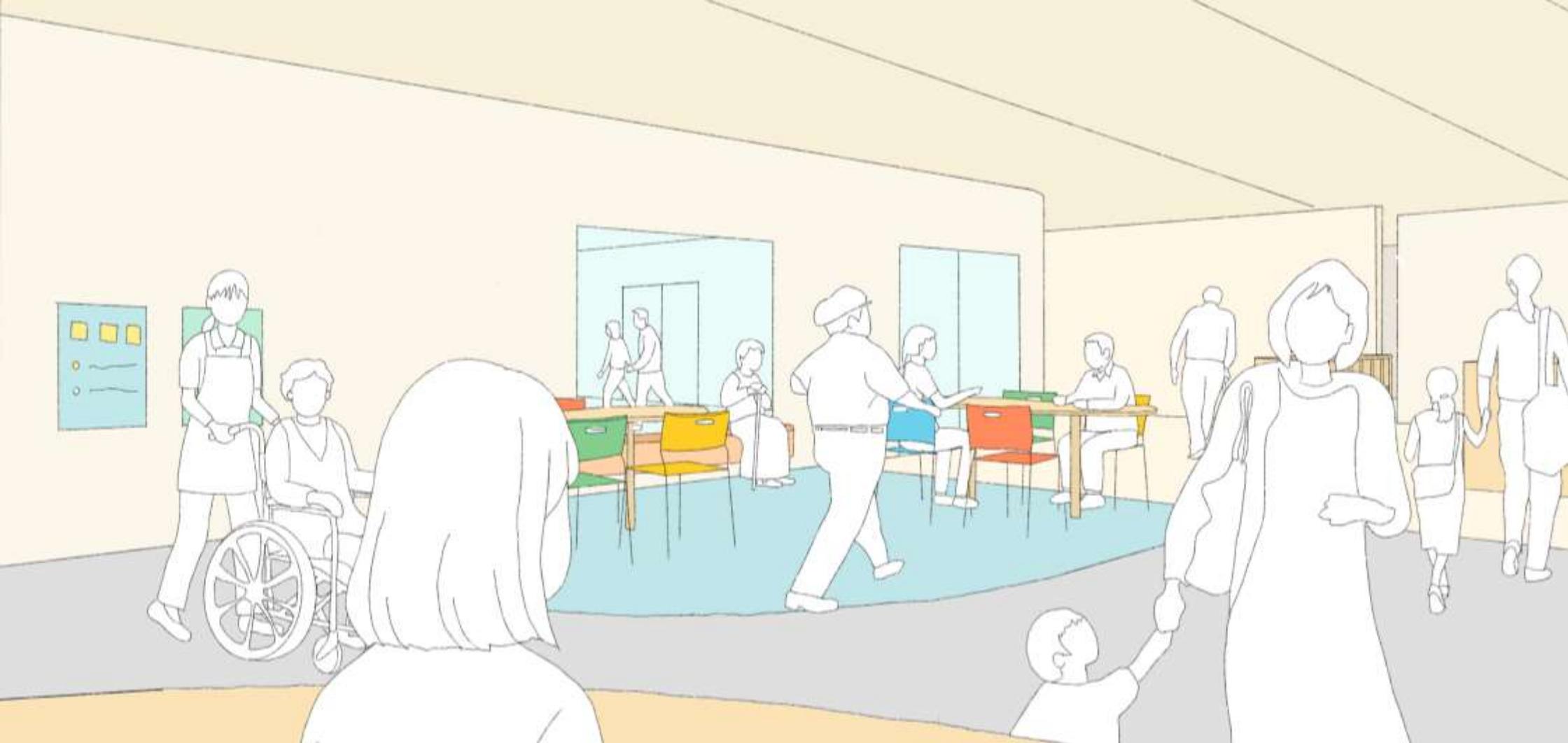
## 施設の概要

### 建物仕様・整備予定地・概算事業費

- [構造] 鉄骨造(一部RC造)4階建・ピロティ構造(一部駐車場利用予定)
- [建築面積/延床面積] 900㎡ / 3,600㎡程度
- [整備予定地] 役場敷地内(七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1)
- [概算事業費] 20億円

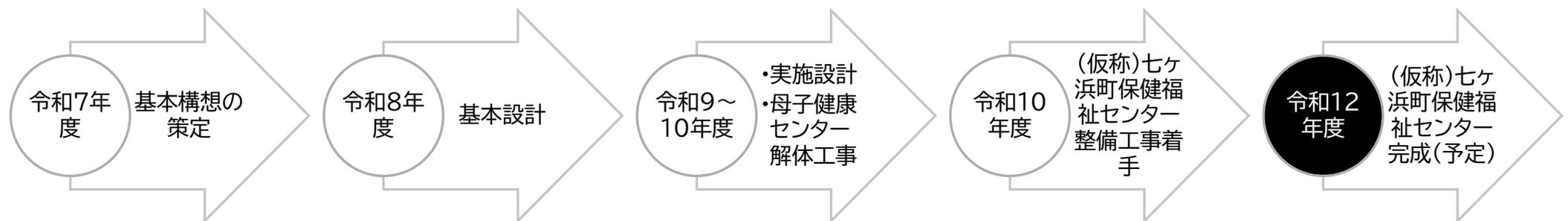
### 工期

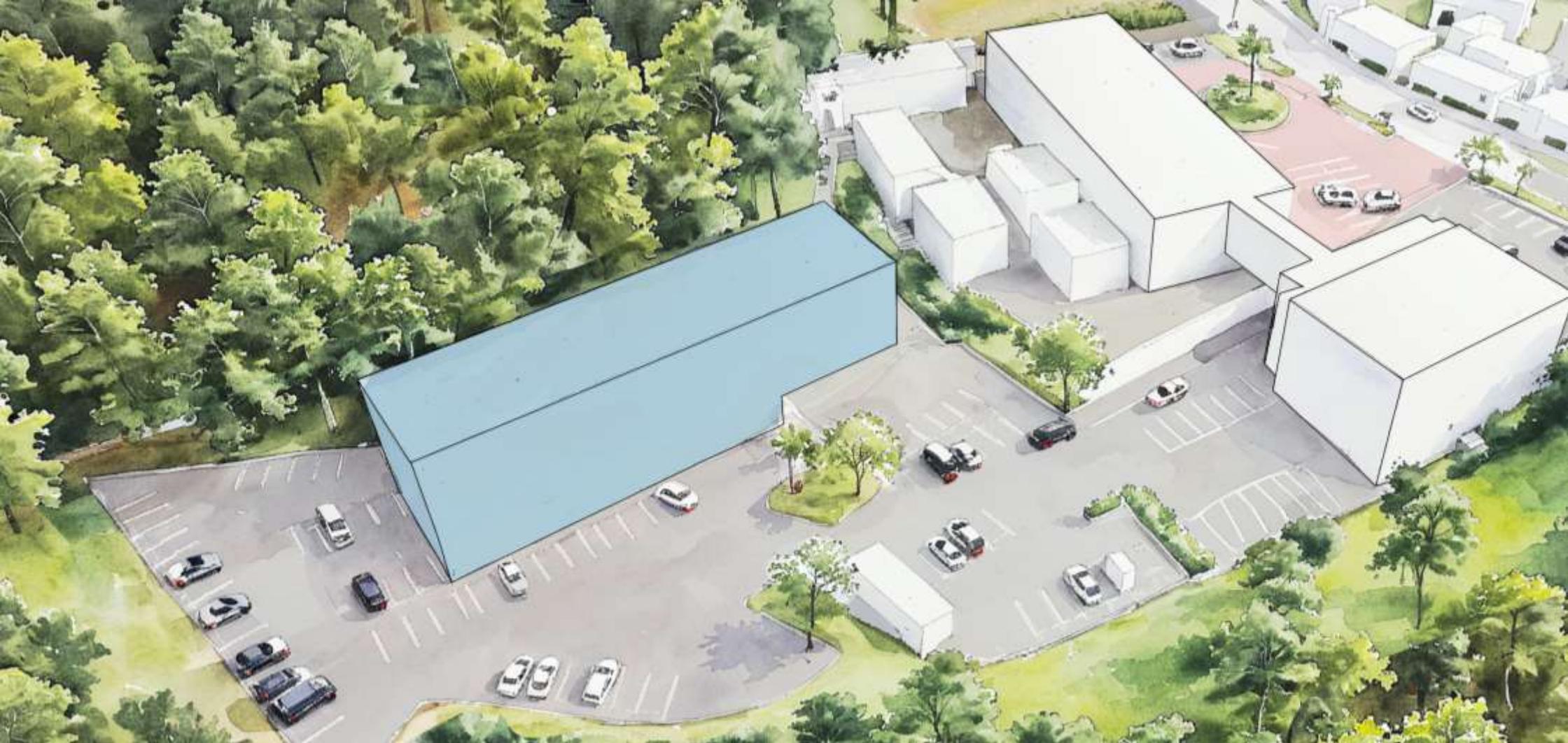
- [着工予定] 令和10年度
- [工事期間] 2年間
- [完成予定] 令和12年度



保健福祉エリア(イメージ)

## 整備スケジュール





(仮称)七ヶ浜町保健福祉センター(イメージ)

2026年2月 宮城県七ヶ浜町